

SOCIO NARAWA SPORTS CLUB history

～おかげさまで30年～



1994年度～ 平成6年度

- 1994**
クラブ設立準備委員会発足
・成岩地区少年をまもる会『成岩スポーツタウン4ヶ年構想』発表。
- 1995**
文部省『総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業』に指定(3カ年)
- 1996**
成岩スポーツクラブ創設(3月)
スクール活動(小中学生の活動)の基盤整備
・学校週5日制の実施を見据え、「週末の子どもたちを地域で支えよう」と総合型地域クラブのモデルとして全国に先駆けて誕生。
・成岩中学校が土日の部活動を休止。
- 1997**
スクール活動の充実
サークル活動(成人の活動)の基盤整備
- 1998**
ファミリー会員制度導入
独立財政基盤の確立
- 1999**
企業チーム(大同特殊鋼ハンドボールチーム)との連携
・スクール活動ハンドボール講座の指導に大同特殊鋼ハンドボールチームが参画。

2000年度～ 平成12年度

- 2000**
成岩地区学校・地域共同利用施設(仮称:成岩スポーツセンター)基本構想
- 2001**
学校週5日制へ向けての体制づくり
・社会体育優良団体として文部科学大臣表彰を受ける。
- 2002**
NPO法人ソシオ成岩スポーツクラブ設立
・12月17日 愛知県知事より特定非営利活動法人として認証。
・12月24日 法人登記。
- 2003**
成岩地区総合型地域スポーツクラブハウスの完成と管理運営の受託
・12月15日 竣工式
・12月16日 成岩地区総合型地域スポーツクラブハウスの管理運営の受託契約。
- 2004**
クラブイノベーション“事業の再編と法人ガバナンスの確立”
- 2005**
クラブイノベーション2“ソシオシステムの確立”
クラブ創設10周年

2006年度～ 平成18年度

- 2006**
PLAN NEXT DECADEの策定とクラブハウスの指定管理運用(4月)
・半田市と協定を結び、クラブハウスの指定管理者となる。
- 2007**
放課後の居場所づくりをスポーツコミュニティ事業として一元的に展開
- 2008**
高齢者向け介護予防運動の科学的な試行
・国立長寿医療センター研究所員と協働し、文部科学省委託事業『総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業』を実施。
- 2009**
toto助成を活用したソーシャルプログラムの充実
- 2010**
クラブ創設15周年
・『佐藤直子プロの三世代触れ合いテニス交流体験会2010』を実施。
・『2010ボールゲームフェスタ in AICHI』、『ボールであそぼうプログラム』を実施。(2011年2月)(共催:日本トップリーグ連携機構)

2011年度～ 平成23年度

- 2011**
全国の拠点クラブとして地域とトップレベルの好循環形成に着手
・拠点クラブに選定され、文部科学省『スポーツコミュニティの形成促進事業』を実施。
- 2012**
クラブ法人化10周年
中学校部活動の補完的機能から発展
・成岩中学校の休日部活動の再開を受け、イデアス部門を充実。
- 2013**
クラブハウス竣工10周年
・クラブハウス10周年記念フォーラム『スポーツで、楽しい街づくり』を開催。(2014年1月)(共催:笹川スポーツ財団)
・クラブハウス3階を改修し、ソシオテラスを設置。
- 2014**
子育て世代の支援施策を充実～ソシオ放課後スクールの開始～
・全国で7つの拠点クラブの1つに選定され、スポーツ庁『地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト』を実施。
- 2015**
トップスポーツとの好循環モデルの施策に向けて企業との連携を促進
・スポーツ庁『地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト』事業の拠点クラブに選定される。(2年目)

2016年度～ 平成28年度

- 2016**
クラブ創設20周年を経て
・クラブ創設20周年記念事業『スポーツの未来について語ろう』を開催。(2017年3月)
(スポーツ庁スポーツ総括官とバスケットボール元日本代表大神雄子氏が来訪)
・クラブハウス東側外壁にクラブ立体ロゴマークを設置。
- 2017**
コミュニティスクールクラブとしてキャリア形成事業に着手
- 2018**
スポーツ庁鈴木大地長官(当時)来訪!(7月)
- 2019**
新型コロナウイルスの影響によりクラブハウス全館CLOSE
- 2020**
地域と共に歩んだ四半世紀～クラブ創設25周年ファンドの醸成～
・クラブ創設25周年を記念し『仮称:ソシオ子ども応援ファンド』を設立する方針決定。

2021年度～ 令和3年度

- 2021**
子どもたちのキャリア形成の場～キャリアサポートセンターを設置～
- 2022**
クラブ法人化20周年
部活動地域移行がもたらす「新しい放課後ビジョン」の創出に向けて
・子ども応援基金事業『キャリアR&D東京研修』を実施。
・経済産業省より委託を受け、『総合型地域スポーツクラブから「未来のバカッヘ」をテーマに『未来の教室』実証事業を実施。
- 2023**
部活動地域移行を踏まえた「新しいバカッヘ」の環境整備に着手
- 2024**
中学校部活動の地域展開を受け、放課後中学生のサードプレイス形成に着手
・『“社会を明るくする運動”街・夢トーカーボ』を開催。
(共催:日本更生保護協会、保護司みらい研究所、半田保護区保護司会)
- 2025・2026(3月)**
クラブ創設30周年～Beyond30th～
・『クラブの社会的価値を可視化する調査』を実施。クラブが生み出す社会的価値は少なくとも1.5億円と評価される。
・一般財団法人ソシオならわ子ども未来応援財団を設立。クラブと併せて新たなステージへ。

